

## 令和3年度第1回苧田町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和3年11月17日(水)  
開会 14:50 閉会 15:50
- 2 場 所 苧田町役場4階401会議室
- 3 出席者 苧田町長 遠田 孝一  
苧田町教育委員会  
教育委員 沖永 圭子  
教育委員 原田 真喜子  
教育委員 下野 孝次  
教育委員 土屋 隆之  
教育長 井上 三津子  
事務局関係  
教育総務課長 吉永 康彦  
生涯学習課長 山口 悟  
生涯学習課主幹 森 由美子  
教育総務課次長 梶田 純子  
生涯学習課次長 近藤 哲也  
生涯学習課副課長 上野 哲  
教育総務課庶務担当係長 崎平 美加  
財政課長 藤原 昌彰

### 4 協議・調整事項

- (1) 苧田町教育大綱の確認について
- (2) 今後の教育政策について
- (3) その他

### 5 議事の概要

#### ◇開会

#### 崎平係長

それでは、ただ今から令和3年度第1回総合教育会議を始めさせていただきます。

本日の進行を努めます教育総務課の崎平です。教育総合会議の開催に当たり、会議の目的について改めて確認をさせていただきます。

この会議は、町長部局と教育委員会が十分な意思疎通を図り、町の教育の課題やあるべき姿を共有するための場でございます。

本日も時間は1時間と限られていますが、皆様よりの多くのご意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

では、次第に戻りまして、はじめに遠田町長よりご挨拶をお願ひいたします。

◇あいさつ

遠田町長

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、総合教育会議にご出席をいただきまして、ありがとうございます。

総合教育会議は、大変大切な会議だと認識しておりますが、事前に勉強する機会がなく、十分なお話が出来るかどうかわかりませんが、誠意をもってお答えをしたいと思ひます。それから、後ほど財政の話の一部させていただこうと思ひますが、専門的になりますと私では分からない部分がありますので、財政課長を同席させていただいておりますことをご了承いただきたいと思ひます。

まず、10月末の選挙で再任されまして、引き続き町長という役目を行うことになりましたので、改めてどうぞよろしくお願ひします。

今、町内の新型コロナウイルス感染者が341名だと思ひます。11月になってまだ感染者は出ておりませんが、8月が121名、9月が40名、10月が2名で、ずっと収束してきた状況です。土屋委員もおられますが、ワクチン接種に大変ご尽力いただき、お礼を申し上げたいと思ひます。そのお陰で相当ワクチン接種が効いているのだと思ひますが、最新の数字で申しますと、1回目の接種が終わった人が83.8%、2回目の接種が終わった人が78%で、84%近い方が1回目の接種が終わったことが、今、沈静化している大きな要因だと思ひています。引き続きご協力お願ひ申し上げたいと思ひます。

それから教育の話ですが、月曜日に北九州市長とお会いし、お話しする機会が30分ほどありました。その中で北九州市長より言われたことで非常に印象に残ったのは、環境、持続可能な社会を作るために開発目標17を決めて、SDGsという取り組みを苅田町も行っていますが、北九州市で効果があったのは、SDGsについての意義だとかを子ども達を通じて、子ども達にそういう意義を教えたりすると、周知とか、認知とかの度合いが一気に上がりましたと言われておりました。多分、家族に子ども達が話をするすることで上がるのだと思ひますので、出来れば苅田町においても学校で取り入れてもらって、社会全体が持続可能な社会づくりに取り組んでいけたらと思ひます。

今日は総合教育会議ですから、後ほど詳しい話はさせていただくということで、冒頭の挨拶はこのくらいにさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

崎平係長

ありがとうございました。次に教育委員会を代表いたしまして、井上教育長にご挨拶をいただきます。

井上教育長

皆さんこんにちは。今日は、教育委員会に引き続き、総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。また遠田町長におかれましては、お忙しい中、時間を作っていただき、本日の総合教育会議を招集していただきましたことに、心よりお礼を申し上げます。

遠田町長におかれましては、日頃より教育に対するご理解とご支援をいただいております。本日は2期目を迎えられましたので、教育の方向性に関するお考えをお聞きし、町長部局と教育委員会がより一層連携しながら、かんだっ子のより良い成長を目指して、教育施策等を立案し実行していくことが出来るように協議を進めることが出来れば良いなと考えております。

アフターコロナ、それを見据え新しい教育の方針が今日の協議を通して明確になり、共有できますことを祈念いたしまして、簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきますと思います。本日は、最後までよろしく願いいたします。

◇協議・調整事項

崎平係長

ありがとうございました。それでは、次第に従いまして、3、協議調整事項の(1) 苧田町教育大綱の確認について、町長より提案をお願いいたします。

遠田町長

それでは、着座にてお話をさせていただきたいと思いますが、町の教育大綱につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で、総合教育会議で協議の上、地方公共団体の長が定めるものとなっております。

教育大綱は、令和3年度からの10年間の「第5次苧田町総合計画」を策定しております。その中で、「未来を拓く人づくり」という政策の中で、「学校教育の充実」及び「生涯学習の充実と文化の振興」の施策方針をもって、町の教育大綱といたしたいと思っております。

具体的な内容につきましては、教育委員会の担当課長からもう少し詳しく説明していただこうと思っております。吉永課長からお願いします。

吉永課長

では、私から「学校教育の充実」ということで、資料に沿いまして簡潔に説明させていただきます。

基本政策としまして、「未来を拓く人づくり」ということを大綱の中でテーマとしております。その中で学校教育では、「子どもたちが確かな学力とたくましい心身を育み、学校で楽しく学んでいます。」、このことを目指して諸施策を展開してまいります。

1点目には「確かな学力とたくましい心身の育成」、様々な教育活動や関連します取り組みを通じまして、子ども達の学力向上や心身の育成に努めてまいります。

2点目には「ICT活用教育による学びの質の向上」、新しい教育ツールでありますタブレットや電子黒板等を活用しまして、これまでの教育で培われた部分に、更に教育の質の向上を上乗せしていくことに努めてまいりたいと思います。

3点目には「教育環境の整備」、安全・安心・快適な教育環境、学習環境の維持・整備に努めてまいります。

4点目といたしましては「学校・家庭・地域の連携と協働」、地域全体で子ども達の学びや成長を支えていける体制づくりに努めてまいりたいと思います。

5点目には「多様性を踏まえた教育の実践」、子ども達の個性や特性に応じた多様な学びの場を提供して、誰一人残すことのない荏田町の義務教育の実現に努めてまいりたいと思います。

以上、5本の柱で施策を進めてまいります。

#### 山口課長

続きまして生涯学習課は、「第5次総合計画前期基本計画」の中で、「生涯学習の充実と文化の振興」を掲げ、「子どもから高齢者までが、生涯を通じて学習し、芸術・文化やスポーツ活動に取り組んでいます。」を施策の目指す姿にしています。

また、この目指す姿を実現するため、①学習機会の充実、②生涯スポーツの推進、③図書館サービスの充実、④文化財の保護と活用の4本柱を基本事業といたしました。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で、文化・スポーツ関連のイベント、公民館講座等が開催できず思い通りの事業は進んでおりませんが、その中でも3番目、「図書館サービスの充実」では、令和3年8月より電子図書サービスを開始し、既に1万2千冊以上の貸し出しがあります。

また、4番「文化財の保護と活用」では、史跡御所山古墳の公有地化や与原小学校6年生と共同で御所山古墳を総合的な学習の時間の題材として取り上げ、学習成果を野外展示するなど、国指定史跡を本物の教材として活用し、学びを深め、地域の文化財を身近に感じていただく授業を行ったところです。

今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、文化・スポーツ関連のイベント、公民館講座等に参加できる機会と場所の充実を図ってまいりたいと考えております。以上です。

#### 崎平係長

ありがとうございました。それでは、ただ今の提案につきまして、委員の皆様からご質問ご意見等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。それでは、これで大綱の確認が出来たということで、今後、

定めました目標の実現に向け努めてまいりたいと思います。

それでは続きまして、(2) 今後の教育政策について、に移りたいと思います。こちらについては、遠田町長よりお願いいたします。

#### 遠田町長

今、来年度の予算を編成する準備をしていますが、新しい事業を行いたいというセクションがありますので、そこから事業の目的だとか、どれくらいのお金が掛かるのかとかのヒアリングをし、新しい事業を行うというルールを作っていますので、今朝、ヒアリングを行ってきたのですが、基本はやっぱり、色んなことを学校もやりたいんですね。しかし財源の確保、財政がうまく回ってないとなかなか難しいというのはご理解いただけたと思います。

そこで、現在どのような状況か、今までにどのくらいお金を使ってきたか、A4の横書き資料をお配りしています。左上に1、2と書いていますので、1を見ていただきたいと思います。

1は、荻田町の教育費の推移で、左側が決算総額、町の一般会計の総額で、右側が教育費で学校も生涯学習も含めた教育費の総額になります。私は、平成29年11月に町長に就任しましたが、特別な数字は、決算総額の令和2年度が187億円と突出しております。これは一人10万円の国からの給付があり、国から37億数千万円をいただいたのがここに掲載されていますので、大きな数字になっています。教育費全体で一般会計に占める割合が10%に満たないところが、今は15%近くになっているということをぜひご理解いただきたいと思います。

それから2ページ目ですが、これにはどのようなものに使ってきたかということ、特に小中学校費だけを抜き出したらどうなるかということ、これを財政課で作ってもらった資料です。これで言いますと、決算総額は先ほどの左側の数字と同じですが、小中学校費の全体の数字が左側にあります。それとハード事業とソフト事業に分けて、どのようなことを行ってきたかが書いています。毎年毎年、学校には大きな投資をしてきたということが解っていただけるのではないかと思います。私も教育委員の皆様も一緒だと思いますが、少々の犠牲があっても、子ども達のためにはお金を使ってもという気持ちはあります。ただその中で、文科省がGIGAスクールを行うとなると、他市町村には負けてはられない、タブレットを入れるとなると負けてはられない、という気持ちになりますのでその投資をしています。それは独自政策ではないのですが、国の全額補助ではないので、町の教育費を大きく使って行わなければなりません。またエアコンの設置、さらに欄外に記載していますが、コロナで影響を受けた家庭に応援しようと、間接的に子育て世帯を応援しようということで、現在給食費を貰っておりません。10月末までの給食費の無償化を、先日臨時議会を開いて、来年3月末まで給食費を貰わないことにしました。4月以降は貰う予定にしておりますが、今後のコロナの感染状況がどうなるのかもありますし、お金のこともあります。このまま給食費を1年以上も貰わない、これだけでも財政課から言われていることは、1ヶ

月に1千万円を超える収入が町に入っていない状況で、年間では1億2千万円が給食費として入っていない。1億2千万円といえば結構なことが出来ますし、そういうことも含めて思い切っている状況で、どれくらいの評価を受けているのかは、保護者の方と余り話す機会がないので分かりませんが、一部では助かっていますとか、先生方は集金の手間が省けて、別の部分の貢献もあるのではないかと思います。

また、コロナになって学校の消毒を行っている人達が各学校1名に減らされ、先生達が疲弊しているのも、予算を付けていただきたいと、私が各学校を回った時に校長先生から話がありました。スクールサポートスタッフという事業だと思いますが、急遽予算を付けるということも行っていました。

今は大きな転換期にあると思っております。ソフトで言いますと、G I G AスクールやI C Tの教育に大きく転換すると、先生方や子ども達は今までにはない授業を求められることとなります。ハードでは、老朽化した施設がたくさんあり一度には出来ませんので、公共施設の個別施設計画を作り、どういう順番で行うのか、どちらが重要なのか、優先すべきところはどこなのかを作り、小中学校では校舎を見に行きましたが、荊田中学校が一番ひどい状況になっておりますので、荊田中学校からという計画にしております。そういうことをしながら、総合体育館の改修工事とか、与原の区画整理事業だとかも並行して行っております。お金をもっともっとと言われても、本当に精一杯行っております。ただ、教育委員の皆様は、もっとという気持ちがあるのではないかと思います。財政課長にも来てもらっていますので、率直なご意見を聞かせていただいて、私どもにしてみたら、けっこう教育には頑張っている予算を付けてきたつもりですが、まだまだという人もいます。

もう一つは、コストを削減するという感覚を持ってもらい、今これだけ掛かっているものを少し下げれば他のものに分配できるようになる。教育予算が増えることによって、どこかのセクションが減らしていますので、そういうことを私たちも来年度の予算が近づいてきましたので、いろんな面でお金のことを考えていかなければと思います。

もう一つ言わせていただくと、学校への投資を行うと、議会からその効果はどうかということが言われます。学校だけではなく、事業の投資に対しても同様に効果を必ず問われます。人を減らすことが出来ましたとか、時間が短縮出来ました等が求められます。学校での教育効果は求めにくいというのは勿論承知していますが、そういうことも含めて、先行投資という面もあろうかと思います。教育委員会で色々お話をしていることもあると思いますので、今日はせっかくの機会ですから、遠慮なく意見を言っていただいて、それが全て出来るかという約束はできませんが、ぜひお聞かせいただければと思います。

崎平係長

ありがとうございました。町長からコスト面ということで、大きな牽制のようなものがありました。本日は自由な意見交換の場ということですので、これ以降は、た

だ今の町長のお話を受けまして、それに対するご意見ご質問、或いは委員の皆様が日頃から感じられていることなど、自由な意見交換をお願いしたいと思います。

では、沖永委員より順に皆様ご意見をいただきまして、それに合わせて町長から、お答え出来るものがあればお答えしていただくということで、よろしく申し上げます。

沖永委員

こんにちは。2年目になります沖永です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今、耳が痛い思いですが、現場にいた者として、教育委員会の指導主事として、また適応指導教室にも関わらせてもらったので、子どものことについて、思っていることを少し話させていただきます。

その前に給食費のことについては、近隣の色々な方から感謝されており、その声も聞こえてきておりますのでお伝えしておきます。

町長も言われておりましたが、教育というのは、すぐに効果が出るものではないということは町長も十分ご存じだと思います。今の対策とか取り組みが、将来、結果になるかどうか確約はありませんが、効果があると信じて現場の教員は取り組んでいる日々だと思います。

先日、教育委員会で学力テストの結果報告がありまして、令和3年度の小学6年生は、国語・算数とも全国・県平均よりも上回り、これは今までの取り組みの成果ではないかと思います。しかし、中学3年生は、町長もご存じだとは思いますが、国語・数学とも全国平均を下回っています。特に中学校は、高校入試に直接関係してくる教科で、授業改善が必要だなとすごく感じました。

それと同時に、中学校の不登校が、令和2年度は、本当は0であるべき姿ですが、24名でした。令和3年は今の時点でもう37名になっています。コロナ禍の影響ということもあるとは思いますが、このままの状態であれば、今まで以上に子ども達の不登校については、上回ってくるのではないかと心配しています。そういう面から考えても、中学校2校の現場での授業指導を含めて、現場に関わる教員の配置が必要ではないかと思います。

もう1点は、今、孫が与原小の4年生と1年生で、先日家に来た時に、4年生にタブレット学習のことを聞いてみると、今は算数のドリルだけみたいです。近隣の市町は他の教科もタブレットで行っており、お金も掛かるとは思いますが、コロナ禍で第6波も懸念されており、自宅での学習も増えてくると、算数のみではなく他の教科も導入していただけたら、子ども達の学習意欲と自主学習の習慣等の定着にもなるのかと思いますので、検討していただけたらと思います。

遠田町長

それは、中学校、小学校どちらですか。

沖永委員

私の孫は小学校で、他の学校のことは分かりません。  
小学校は算数だけですか。

井上教育長

小学校も中学校も同様です。

遠田町長

不登校が増えている原因は分かりますか。

井上教育長

中学校で不登校が増えている原因は、コロナの関係が大きく影響していると思います。3か月間の休業があつて、学校に行かないことが当たり前になっていて、子どものモチベーションも下がっているのではないかと思います。

昨日、京築教育事務所で教育長会議があつたのですが、やはり原因としては、コロナによる影響が大きいのではないかという説明を受けました。本町でも同様ではないかと思っております。

遠田町長

沖永委員から言われたタブレット用のソフトの話ですが、算数・数学以外に追加することは上がっていますか。どれくらい必要なのかを知りたいのですが。

吉永課長

来年度予算に向けて、学校の意見集約をしています。その中では、ドリルソフトの拡充をして欲しいという声も上がってきております。

沖永委員

そういうことは、活用していることだと思います。算数とかは直ぐに出来るので、国語等、思考を要する教科もあつたらと思います。自主学習にも繋がります。

崎平係長

続きまして、原田委員お願いします。

原田委員

保護者代表ということで参加させていただいております原田です。

私からは、多様な学びの場という部分で、思っていることはSDGsです。冒頭に町長が言われた子どもに向けての話ですが、昨年から子どもの職場体験が出来ていないと思います。苅田町には大学もあり、多くの企業がありますので、学校への出向、小学校は町内の自動車会社が行ってくれているようですが、他の学年も中学校も、色



んな企業・職場の方、大学の学生から、直接お話が聞ける場所がもう少しあると、子ども達も夢を持って色々学べるのではないかと思います。今、会社では、SDGsに向けてこのようなことを行っているとか、こういう勉強をすれば、このような職場に就けるとかを話してもらえれば良いかと思います。子ども達はどんな仕事があるかも何も分かっていません。夢を持ってない、何をしたら良いのか分からない、という子どもが多いと我が子を見ていて思います。もう少し視野を広げるため、町で企業の方等を招聘してもらい、学校に出向いて授業を行っていただくと、学校側もスムーズに行くのではないかと考えております。

#### 遠田町長

菟田町の話で言いますと、世界に胸を張れる企業がたくさんありますが、それなのに菟工を卒業した人は、都会に行くという傾向があるようです。若い人は、1回は大都市で生活してみたいという願望もあるのかも知れませんが、今言われた、知らないということで、そういう取り組みを全然行っていないことはなく、以前、菟工の生徒をバスで企業に連れて行って見せるということを行っていました。逆に企業が菟工に行って説明をし、町内には素晴らしい企業があるというお知らせをするような取り組みをしたらどうかということですね。

#### 原田委員

小学生、中学生の小さい時から色々な経験をさせてあげたいなと思います。

#### 遠田町長

例えば、菟田山笠等がありますが、山笠の振興をする人達が、学校に行って太鼓を叩かせて見せたりとかも、伝統行事を次の世代に引き継ぐということで大事なことと思ったりもしています。それは教育委員会と連携して、必要ならば考えてみたいと思います。

自動車会社は、すごく見学者が来ますよね。

#### 下野委員

見学者も来ますが、今、私どもが、モノづくりキャラバンで物作りの大切さ、面白さを知ってもらうために学校に出向いて行って、40分から50分の授業時間で、物作りを体験してもらうということを町内で行っています。それに加えて菟田・行橋では、わくわくエコスクールと言って、電気自動車を持ち込み、SDGsの話に繋がるのですが、地球にやさしい環境づくりというテーマで、これも出前授業になるのですが、今までは社員が2名ほど学校に行き、先生と調整をさせていただき、クラスに入っていた行っていました。昨年からコロナの関係もあるということで、ビデオを作り、ビデオでそのような授業が出来るということも昨年1年間で確立しています。来年以降、少し収束してくれば、今まで通り出向いて行って、学校現場で少しでもそういう

ところの一助となればと取り組みを行っていきいますし、強化していききたいと思っております。

遠田町長

引き続きご意見があればお願いします。

下野委員

冒頭、町長が言われたSDGsは、私も非常に賛成で、子どもの頃からSDGsの教育は、地球温暖化を含めて色々な問題がありますので、そこに繋がるということをお教えいただければ、将来役に立つのかなと思っております。それが1点と、教育大綱の学校教育の充実の課題と方向性、2番目の「教育現場を担う教職員の指導力向上を進め」とあり、先ほど沖永委員が言った全国学力テストの点数を比較した時に、生徒もそうですが先生をどうやって指導していくか、レベルや質をどうやって持ち上げていくか、課題を明確にして取り組んでいくところが、最終的には教育力の向上に繋がっていくと思っております。ここに明確に課題として上げていただいておりますので、具体的にこれを行っていくために何が必要なかを上げて、力を入れていけたら良いなと個人的には思っておりますので、そういうところを推進していただければ非常に助かります。

遠田町長

沖永委員が言われたことと同じですよ。それは、教職員の指導力と大きく因果関係があるだろうということですよ。

沖永委員

やはり現場にいる先生から指導していかないと、若い先生が苧田町は多いので、受験を控えている子ども達にとって、中学校のベテランの先生が若い先生達を指導していくと随分違ってくるのではないかと思っております。先生達の指導力をよろしく願います。

崎平係長

次に土屋委員をお願いします。

土屋委員

今年から参加させていただいております土屋です。教育委員に就任する前に、高齢者等の会議にたくさん参加させていただいて、先ほど町長が子どもをすごく大事にしているとおっしゃっていましたが、そういうことを感じています。この会議で予算を削減するという話は余り出ません。高齢者等は、どうやって予算を削減していこうかという話ばかりでしたので、子どもを大事にする苧田町で、この委員会に参加して良か

ったなと思います。

今回の会議と少し違うのですが、高校生までの医療費の自己負担が、町長の政策で無料になったと聞いています。自分の仕事柄、以前は、単なる打撲では医者に罹らないという子どもが多かったのですが、いざ来て診て調べたら、骨折していましたというのが物凄く多くて、荻田町が一番最初に中学生まで医療費を無料にした時に、子どもの受診数がすごく増えました。普通、子どもの受診者は、他の地域の整形外科では1割前後ですが、私のところでは3割近くになっています。中には単なる打撲の人もいますが、来て良かったねという人も多くいます。今度、高校生までになっても同様なケースが多くあります。関西の友人に高校生まで医療費無料のことを話したら、何と素晴らしい町だと、皆が絶賛していました。我々のところもして欲しいけど無理だよ、というのが結論です。子どもをそんなに大事にしているところは無いよ、と言われましたので、町長にお伝えしておきます。

ただ少し気になっているのが、小学校で成績の良い子は、中学校は私学等に通ったり、大学になるとこの地域に殆ど居なくなります。何か優秀な子どもが、この地域に残れることは考えられないのかなと思います。

先ほどの話で、全国学力テストでは小学校は良かったが、中学校になると下がるということは、成績の良い子は私学等に通っているのかもしれない、という怖さも少しあります。何とか、出来る子がここに居付いて、何らかの形で町の発展に貢献できるような、長いスパンで見ることが大事かなと思いました。

それから子どものことではないのですが、町長、毎回ワクチン接種にお出でいただき、励ましていただき、我々も元気が出ました。ありがとうございました。

その時に町長にもお話をしましたが、総合体育館のことです。照明が全部ついていないとか、エアコンが効かないとか、ちょっと寂しいですよ。今後、1月から寒くなる時期に第3回目のワクチン接種が始まります。予算的に難しいとは思いますが、接種に来られる町民も働く我々も、気持ちの良い環境で出来ないかなと最近感じているところです。

遠田町長

それは暖房ということですか。

土屋委員

暖房もですし、天井の照明が3分の2くらいしか点いていません。

山口課長

照明は、今週の月曜日に電球を付け替えています。

土屋委員

予算で大変と思いますが。

遠田町長

ワクチンの接種会場で、5月頃に始まった時には、エアコンが効かないとかが何度かあって、床置きエアコンを設置し、間仕切りの衝立も破れていたのを替え、駐車場の照明もやり替え、階段の手すりも付けました。それから、川の向こう側に駐車場も新たに増設をしました。殆どの町民の方がワクチン接種に来るのだから、その部分については速やかに対策を立てようと、財政課長と色々相談をしながら行ってきました。今、言われた暖房の話は、この前の土曜日に行った時も、まだ床置きエアコンが十数台ありますが、3、4台に1台しかスイッチが入ってなく、体育館の天井が高いので冷房と違って効くかなと、もう少し空気を循環する物が要るのではないかと担当とは話をしました。出来るだけ快適な環境を確保できるようにしたいと思います。

崎平係長

ありがとうございました。

他に委員の皆様、よろしいですか。滅多にない機会ですので、よろしければご意見ご質問等お願いしたいと思います。

遠田町長

どうしても学力の話とか、指導力の向上の話とか、最後、教育の話はその部分に集結します。私が個人的に聞いているのは、経済的に厳しい家庭的が、Wi-Fiの設備がないので考えてね、と言われたことがあります。それは教育委員会で既に手配をしていると認識しております。

どういうことが最も効果があるかを考えていく必要があると思いますが、それは町としての大きな課題です。こうしたらどうか等の話があれば、お聞かせいただければと思います。

沖永委員

先ほど言われたように、今、学力テストで小学校は上がってきており、中学校になって下がらないことを願います。小学校では子ども達が一生懸命頑張っており、地道な取り組みかなと思います。町内どこの小中学校に行っても、私が現場にいた時よりすごく静かに集中して学習していますので、もう一息、中学校の方が、引き続きこの力を下げないように、それと不登校の数も同じようになっている気がしています。

遠田町長

土屋委員のお話の中で、出来る子が苧田町から出て行っているのではないかと。具体的な数字は掴んでいないのですが、北九州の高校に行かせたいから、苧田町から出ていくという話を聞いたことがありますよね。どれくらいの子供達が、出て行っているかを調べたことはないですね。

吉永課長

町内の小学校から中学校に進学する段階で、概ね町外に出る子どもは、1クラス分、40人くらいだったと思います。

遠田町長

毎年40人くらいが町から出て行っている。出てないかもしれないが。

吉永課長

小学校から概ね30から40人は、ほぼ例年、町外の中学校に通っています。

遠田町長

本人の気持ちというよりも、保護者の気持ちではないかと思えます。そういう苧田町の先入観、学力テストの公表された成績を見ると、子どもの将来のためには苧田より北九州で、ということになるのでしょうか。

土屋委員

実は私、京都の出身で、実家があるのは京都市内です。日本に最初に出来た小学校等があるような地域で、私が卒業した直後くらいから子どもの数が減ってきて、1学年十数人という小学校が乱立している状態で、それを全部統合し、一つの学校の跡地に素晴らしい設備の小中一貫の9年間の学校を京都市が造りました。それがすごく良いとのことで、その学校に行きたいという人が多く、その周辺にマンションができ、マンションの値段も高額になりましたが、それでも足りない状況で、公立でもやろうと思えばそういうことも出来るのです。実際、私の町内40数軒の内、一時期、子どもが4人まで減ったのですが、今は地域外の方が転居してきて、40人近くになっている状況です。私立の学校に対抗している訳ではないのですが、やり方しだいでは公立学校でも出来るのかなと思います。ただしカリキュラムは、私立学校的なもので、小学校から英語教育をし、中学校3年生では、高校生が習うような勉強を行う先生もいるそうです。この学校に行くと塾に行かなくて済むという話を聞きました。市長の発想の転換でモデル校を造ろうと行ったそうです。京都も人口が減って高齢化が進んでおり、若い人の就職先が無いという現状で、財政状況も非常に厳しいのですが、子ども達がいるこの地域だけは、土地代等も高いままだと聞いています。

遠田町長

教育が充実し、学力が高いレベルの子ども達が揃っているということは、地域の魅力になるということですよ。昨日、片島小学校の地域の方から、1学級10人以下は、複式学級にすると規定していますので、条例の改定や、コミュニティバスの運行等複式学級に伴う要望をいただきました。大人の視点で片島小学校を残して欲しいと

言うのだけれども、子ども達にとって本当に望ましい教育なのか、という部分で考える必要があるのではないかと申し上げました。苧田町の6小学校の在り方も、今後少し考えていかなければならない時期に来ていると思っています。

今ご紹介のあった京都みたいなことはできませんが、例えば、小中一貫校を行うことによって、魅力的な学校になるのであれば、転出を抑えられることになるのであれば、それを町の政策として、ただ、お金の話に戻るのはですが、来年度に総合体育館を大改修し、苧田中学校も大規模改修と、順番を決めて行うようにしていますが、この庁舎が50年目になり、耐震化も十分には出来ていない状況で、庁舎も建て替えの時期に来ており、防災の拠点として整備する必要があります。そういうことを思うと、アドバルーンだけ挙げたけれど、実行計画が全くないのは困りますので、今、言われた話が、直接効果があるのか、少し考えていかなければならないのかと思います。

崎平係長

他に委員の皆様よろしいでしょうか。

それでは教育長、お願いします。

井上教育長

それでは、最後に纏めということで、私からお話をさせていただきたいと思います。

昨年度、コロナの嵐が吹きまくり、とても大変な年でありましたが、その中でも、GIGAスクール構想の実現やエアコンの整備をしていただいたことで、学びの環境づくりを進めていただいて、子ども達がより安心して、学校の中で学びを進めていくことが出来ました。大変感謝しております。

整備していただいた一人一台のタブレットにつきましても、1学期の間は少し心配していましたが、毎月1回行っていきますプロジェクト会議の中で、各学校の取り組みをお聞きしていたら、2学期以降は、他の市町村に追いついて、追い抜くくらいの勢いで、今、それぞれの学級で色んな使い方をしてくれる状況になりました。それは、苧田町の先生が一生懸命頑張ってくださっているお陰だなと思っています。

今後としましては、コミュニティスクールの実施というのが目の前に迫ってきております。また、先ほどからのお話にもありましたように、学力向上のための指導力の向上、その施策を今後しっかり知恵を絞って、立案し推進していかなければならないと思っています。予算が厳しいということは重々解っております。施設の長寿命化、社会教育施設の改修等、たくさんのお金を必要としておりますが、苧田独自の学力の向上に向けた施策も同時に推進していかなければならないと思いますので、知恵を絞り、予算の中で効果的な方法を探ってまいりたいと思っています。

それから、先ほど原田委員が言われました、学校への企業の出向につきましても、町長部局と連携をしながら、多くの企業、高校・大学に呼び掛けて、学校に協力していただければと考えております。本年度も苧田港湾工事を請け負っている企業から、苧田の海岸線がどのように変化しているのか、苧田がどのように移り変わっているの

か、ということをごDVDでいただき、各学校に配付して、必要であれば各学校に訪問しますとの嬉しいお話をいただきました。また、西工大や荊工ともICTの関係で、学校に来ていただくということで話はしていますが、コロナの関係上、中々前に進んでいませんが、コロナが落ち着いたら、進めてまいりたいと考えております。

SDGsの学びというのは、新しい教科書にもどんどん入ってきておりますので、これから町を挙げて取り組みを図っていくということで、学校現場でもこの学びを推し進めていきたいと考えております。

町長部局もこのような教育委員会の方針をご理解いただいて、ご支援をよろしくお願ひします。以上でございます。

崎平係長

ありがとうございました。

それぞれのご専門やお立場からのご意見をいただくことが出来ました。皆さんの意見を受けて、町長、何か一言ありましたらお願ひします。

遠田町長

このようにお話をすることが大事なことだと思います。また、テーマとかがありましたら、お声がけしていただければ調整してここに来て、意見交換をさせていただければと思います。

やはり、教育委員会が一生懸命にならないと、学校に伝わらないと思いますし、学校が本当に一生懸命になったら、子ども達が学びやすい良い状況になるのではないかと思います。ぜひ引き続き、教育委員の皆様も教育についてご審議よろしくお願ひいたします。

今日はありがとうございました。

崎平係長

それでは、今日、たくさんのご意見をいただきました。私ども事務局もいただきましたご意見につきまして、今後の事務事業に生かしていけるよう努めてまいりたいと思います。

また、町長部局におかれましても、委員からの明日結果が出るとか、効果がすぐに期待できるというよりも、子ども達の将来とか長いスパンで考えて欲しいなどの意見が出たと思いますので、そういうところも予算編成に反映していただければと思います。

それでは、以上をもちまして、第1回の総合教育会議を終了させていただきます。長時間に渡りお疲れさまでした。

一同

ありがとうございました。